

大正二年の第一歌集『赤光』以後、遺歌集の『つきかげ』まで全十七冊の歌集が発刊され、載せられた歌の数は実に一万四千首を越えます。

そして、手紙、手帳、歌集から除かれた作品も合わせた歌の総数は約一万八千首にもなります。

また、歌の評論など、研究者としても優れた多くの作品を残し、それら数々の業績に対して、昭和十二年（一九三七）帝国芸術員会員、昭和十五年（一九四〇）柿本人麿研究により帝国学士院賞、昭和二十年（一九五〇）第一回読売文学賞の各賞を受賞。さらに、昭和二十六年（一九五二）には文化勲章を受章しています。

あかあかと一本の道とほりたり
たまきはるわが命なりけり

歌集『あらたま』

◆主要著作一覧

書名	発行年	発行所
赤光	大正二年十月	東雲堂書店
同 改選版	大正十年十一月	東雲堂書店
同 改選第三版	大正十四年八月	春陽堂
同 新版	昭和二十四年四月	千日書房
あらたま	大正十年一月	春陽堂
つゆじも	昭和二十一年八月	岩波書店
遠遊	昭和二十二年八月	岩波書店
運歴	昭和二十三年四月	岩波書店
ともしび	昭和二十五年一月	岩波書店
たかはら	昭和二十五年六月	岩波書店
連山	昭和二十五年十一月	岩波書店
石泉	昭和二十六年六月	岩波書店
白桃	昭和二十七年二月	岩波書店
曉紅	昭和十五年六月	岩波書店
寒雲	昭和十五年三月	古今書院
のほり路	昭和十八年十一月	岩波書店
霜	昭和二十六年十二月	岩波書店
小園	昭和二十四年四月	岩波書店
白き山	昭和二十四年八月	岩波書店
つきかげ	昭和二十九年二月	岩波書店
自選歌集 朝の螢	大正十四年四月	改造社
歌文集 高千穂峰	昭和十五年六月	改造社
選集 浅流	昭和二十一年四月	八雲書店
□歌論		
短歌私鈔	大正五年四月	白日报社
続短歌私鈔	大正六年四月	岩波書店
童馬漫語	大正八年八月	春陽堂
金槐集私鈔	大正十五年四月	春陽堂
短歌写生の説	昭和四年四月	鉄塔書院
柿本人麿(全五冊)		岩波書店
総論篇	昭和九年十一月	
鴨山考補註篇	昭和十年十月	
評釈篇卷之上	昭和十二年五月	
評釈篇卷之下	昭和十四年二月	
雜纂篇	昭和十五年十二月	
万葉秀歌上下(岩波新書)	昭和十三年十一月	岩波書店
伊藤左千夫	昭和十七年八月	中央公論社
源実朝	昭和十八年十一月	岩波書店
小歌論	昭和十八年十二月	第一書房
正岡子規	昭和十八年十二月	創元社
文学直路	昭和二十年四月	青磁社
短歌一家言	昭和二十二年一月	斎藤書店
作歌実語鈔	昭和二十二年四月	要書房
万葉の歌境	昭和二十二年四月	青磁社
童牛漫語	昭和二十二年七月	斎藤書店
島木赤彦	昭和二十四年三月	角川書店
幸田露伴	昭和二十四年七月	洗心書林
近世歌人評伝	昭和二十四年九月	要書房
明治大正短歌史	昭和二十五年十月	中央公論社
続明治大正短歌史	昭和二十六年三月	中央公論社
歌壇夜叉語	昭和二十六年四月	中央公論社
□隨筆		
念珠集	昭和五年八月	鉄塔書院
不断経	昭和十五年四月	書物展望社
砂石	昭和十六年四月	新声閣
童馬山房夜話	昭和十九年七月・九月	八雲書店
第一〜四全四冊	昭和二十一年三月・十月	
茂吉小文	昭和二十四年二月	朝日新聞社

その他全集、全面集、共編・選・文庫、選集など多数